



市制40周年を記念にスタートした那覇市史編さん事業は、昨年度、全33巻の刊行を完結しました

1961（昭和36）年にスタートした那覇市史編さん事業が、2008（平成20）年3月で終了しました。この半世紀の間に、市民や、学識経験者を中心とした編集委員など多くの方々のご協力を得て、琉球王国時代から明治・大正・昭和・そして平成の沖縄サミットまでの歴史を集約した『那覇市史』33冊、付属刊行物23冊を刊行してきました。

たつた一人の嘱託職員ではじまり、市史編さん事業でしたが、いまや歴史博物館として文献のみならず「家譜」や写真などの歴史史料、民俗文書などを、約7万点を収蔵する施設はもちろのこと、地域史編さんで

資料、そして国宝「琉球国王尚家関係資料」を中心とした美術工芸品、文書などを、今まで発展させることができました。

その間、市民への資料提供や閲覧

沖縄大学地域研究所  
☎ 832-15599  
那覇市歴史博物館  
**那覇の歴史・文化を体感!**

問い合わせください。  
詳細は左記まで

10月17日から12月19日まで、全11回の講座を、毎週金曜日（31日を除く）。歴史めぐりの2回は土曜日）、午後6時半から、場所は沖縄大学3号館101号室で行います。

県内外研究者へは沖縄研究の窓口としての役割を果たすなど、さまざまな意味で利用者へのお手伝いができると自負しているところです。

市では、「那覇市史」刊行の完結を記念し、沖縄大学との協働で那覇の歴史・文化について、市民・県民を対象にした公開講座「那覇歴史ものがたり」を開催します。

10月17日から12月19日まで、全11回の講座を、毎週金曜日（31日を除く）。歴史めぐりの2回は土曜日）、午後6時半から、場所は沖縄大学3号館101号室で行います。

## 『那覇市史』が完結しました 沖大との協働講座を企画



## ブラジル、アルゼンチンへ 行ってまいりました

～移民100周年と姉妹都市提携30周年～

今年は、ブラジル、アルゼンチンへの移民100周年、那覇市とサンビセンテ市との姉妹都市提携30周年の節目の年となっています。8月21日から9月3日までの14日間、それぞれの記念式典に参加するため、市長、議長をはじめ総勢15名の訪問団が両国を訪れました。

姉妹都市サンビセンテ市を訪れた訪問団は、市役所前の広場で大勢の子どもたちが両国の小旗を振る中、サンビセンテ市長や民俗衣装に身を包んだ市職員に迎えられました。



## 地震への備え学んだよ ～保育園児を対象に避難訓練～

震度5弱の揺れを想定した避難訓練が、地域の自治会のみなさんも参加して、9月3日（木）銘苅の「童の城保育園」で行われ、普段から災害に備えることの大切さを学びました。訓練では、地震発生を伝える園内放送が流れる、120人の園児たちが、それぞれの部屋で先生たちの指示に従い、頭上からの落物や、窓ガラスの飛散に備えて部屋の中央に集まり、搖れがおさまると、自治会のみなさんの誘導に従い、友だちと手をつないで近くの公園まで避難しました。



## 渋滞緩和に役立ちます！ ～臨港道路那覇1号線開通～

那覇ふ頭入り口から国道58号（明治橋交差点）を結ぶ臨港道路那覇1号線の暫定供用の開始を祝い、9月6日（土）、約百名の整備関係者が参加し、那覇港那覇ふ頭地区特設会場で開通式が執り行われました。各団体の代表によるテープカットの後、関係車両による通り初めとなりました。この臨港道路の開通により、港湾関係の物流機能の向上と周辺道路の渋滞緩和が期待されます。



## 躍動する青年達の島心 ～第16回なは青年祭～



## 那覇→静岡間約135分 ANA1日1便就航

●那覇15:00→静岡17:00 ●静岡12:00→那覇14:30



富士山静岡空港  
Mt.Fuji Shizuoka Airport

### ふじのくに静岡観光キャンペーン開催！

10月24日(金) 25日(土) 26日(日)

会場 那覇新都心公園(水のみちゾーン特設会場)

「琉球の祭典2008」の『萬国津梁市』会場内に静岡県ブース出展。

問い合わせ先 静岡県観光局 ☎ 054-221-3537

「那覇が唄う 那覇が踊る 青年達の島心」をテーマに、第16回なは青年祭が9月6日（土）、7日（日）の両日、新都心公園で開催され、市内の青年団や自治会、子ども会などが、エイサー、旗頭、獅子舞などの伝統芸能を披露しました。祭り期間中は、穏やかな天候に恵まれ、会場を訪れた多くの観客が、青年達の躍動する姿に声援を送っていました。また、飲酒運転の根絶を訴える大会も祭り2日目の冒頭に行われ、参加者たちは飲酒運転の根絶を強く訴えました。